

## 読売新聞 きょう（9月7日）のイチ押し

### 1面など ポイント還元 申請57万店

消費税引き上げとともに導入するキャッシュレス決済のポイント還元制度について、全国の小売店約57万店が参加を申請している、と経済産業省が発表しました。

- ★ 現金ではなくクレジットカードや電子マネーを使って買い物をする  
と10月1日から来年6月まで5%分のポイントが返ってきます。ただし、大手のフランチャイズ店では2%の還元です。
- ★ セブンイレブンなどのコンビニ大手のほかマクドナルドなどの外食チェーンも申請しています。10月1日から制度に参加するには、  
今月6日が期限。全国に200万店ある中小店の25%が参加している  
計算になります。

### 社会面 母親「体張って暴力止めず」

東京・目黒で起きた船戸結愛ちゃんが虐待されて死亡した事件の公判で、母親は裁判員から「一度でも体を張って（夫の暴力を）止めたのか」と尋ねられた際、こう答えました。

- ★ 弁護側の証人として出廷した精神科医は、母親が夫からDVを受け、  
現実的な判断ができない状態だったと思うと証言しました。
- ★ DVと児童虐待が混同した事件で、母親は加害者であり被害者だった  
可能性もあります。裁判員がどうさばくのか。判決が注目されます。

### 関西経済面 広論 博物館 都市観光の核に

大阪市立の5ミュージアムを一体的に運営する地方独立行政法人「大阪市博物館機構」が発足しました。理事長に就任したJR西日本会長の真鍋精志氏は全職員に経営感覚を身につけさせ、サービスの質向上をめざすといいます。財政状況は厳しいですが、JR西での経営手腕を生かして、博物館を「都市観光の核に」と意気込んでいます。

#### 他紙と比べて

待機児童が2年連続で減少しました。しかし、10月から始まる幼児教育・保育の無償化の影響で入所希望者の増加が想定されています。現状と課題を解説面で詳しく伝えています。